

『2006年上半期(1月～6月)JVA統計調査』について 記者発表会を開催

当協会は9月12日(火)午後1時30分より、協会会議室において『2006年上半期(1月～6月)JVA統計調査結果』についての記者発表を行いました。当日の協会側の出席者は、後藤健郎事務局長、上田武二郎統計調査委員会委員長(株)ポニーキャニオン営業本部本部長)、肥田幹夫管理部長、上田直子広報課長。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2006年上半期の統計調査についてご案内いたします。なお、同報告書についての詳細資料は、『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.62』として冊子にまとめられており、一般の方にも有料で頒布しています。

詳しくは、info2@jva-net.or.jp までご連絡ください。

以上

<2006年上半期 JVA統計調査結果について(抜粋)>

総論

1. ビデオソフトの総売上は1546億4700万円で前年同期比104.6%、数量では4763万0037本/枚で同105.7%となった。上半期では売上金額で過去3番目(2004年、2003年に次ぐ)、数量においては過去2番目(2004年に次ぐ)の売上となった。
2. DVDビデオの売上金額は1508億0100万円(前年同期比111.6%)、数量は4675万2434枚(同110.0%)となり、DVDビデオの売上は金額、数量ともに上半期では過去最高となった。
一方、ビデオカセットの売上金額は38億4600万円で前年同期比30.4%と大幅な縮小が続いている。このことから、ビデオソフト全体の売上金額に占めるDVDビデオの割合は、金額で97.5%、数量で98.2%を占めることとなった。
3. DVDビデオの「販売用」の売上金額は1021億2900万円で前年同期比99.8%と僅かながら前年同期を下回り、2004年の上半期を最高にして2005年、2006年と前年同期を下回ることとなった。
一方で、DVDビデオの「レンタル店用」は476億円で前年同期比148.9%、数量では1029万3486枚で同172.7%と大きく伸長し過去最高、レンタル店におけるDVDビデオの在庫拡張が更に進んだ様子が窺える。
DVDビデオの「販売用」「レンタル店用」「その他・業務用」の流通チャンネル別の売

上金額の割合は67.7対31.6対0.7となり、「レンタル店用」の割合が高まった（前年同期は、75.7対23.7対0.6）。

4．ソフト全体（ビデオカセットとDVDビデオの合計）の売上金額におけるチャンネル別売上の構成は、「販売用」対「レンタル店用」対「その他・業務用」の順に66.6対32.6対0.8となった。一番大きな市場である「販売用」であるが、売上金額は1029億4900万円で前年同期比99.0%となり僅かながら前年同期を割り込むこととなった。一方2005年は成長率が鈍化する傾向をみせていた「レンタル店用」市場だったが、今期はDVDビデオの売上が貢献し504億0200万円で同118.3%となった（上半期の実績としては4位。2004年、1999年、1997年に次ぐ。1999年、1997年はレンタル店用のビデオカセット出荷が全盛だった）。

5．これまで「販売用」「レンタル店用」共に市場を牽引してきた『洋画（TVドラマを除く）』の落ち込みが目立った。ビデオソフト全体の売上金額の66%を占めるDVDビデオの「販売用」においては同ジャンルの前年同期比は62.4%と大きく落ち込んだ他、「レンタル店用」においては、DVDビデオで同100.8%とかなり前年同期を維持したが、ビデオカセットで同21.3%と大きく落ち込み、DVDビデオとビデオカセットの「販売用」「レンタル店用」「その他・業務用」のすべてを合わせた全売上金額で同ジャンルの前年同期比は69.1%となった。

全売上金額のジャンルでは、『邦画（TVドラマを除く）』が同104.1%と小さな伸長率に留まったが、その他の主だったジャンルでは軒並み二桁の伸長となった。

以 上